

エンゲージメント(対話を通じた相互信頼の確立)

当社は、すべてのステークホルダーとの相互信頼の関係を深めるためには、企業価値向上に向けた建設的な対話が重要だと考えています。そのため、当社は、中長期的な企業価値向上と実効性の高い経営体制の構築につなげるため、従業員や株主・投資家との積極的なエンゲージメント活動を行い、ステークホルダーからの貴重なご意見を経営戦略に反映しています。

株主等との対話に関する基本方針

当社は、株主・投資家との建設的な対話に積極的に取り組み、経営に活かすことが中長期的な企業価値の向上と持続的な成長につながると考えており、その取り組みに関する方針を定めています。

株主・投資家との対話に関する方針
https://www.wacoalholdings.jp/sustainability/talk_with_stockholder/

情報開示についての基本方針

当社は、適時・適切な情報の開示が、あらゆるステークホルダーの皆さまとの信頼関係を築く基盤となること、また、当社の企業価値について適正な評価を得るための前提であることをよく理解し、関係法令等の要件を充足しつつ、積極的なディスクロージャーを行います。

情報開示についての基本方針
<https://www.wacoalholdings.jp/ir/management/disclose/>

ステークホルダー・リレーション

当社グループでは、「企業価値」を、顧客・従業員・株主・投資家などが受け取った「価値」を「統合」したものと定義しており、当社グループとステークホルダーの間の双方向性コミュニケーションを通じて、適切な関係性の維持と深い相互信頼の確立につなげています。なお、IR・サステナビリティ(ESG)に関するコミュニケーション業務は、コーポレートコミュニケーション部が担当しています。

アナリスト・機関投資家向けのコミュニケーション活動実績

活 動	23/3期	24/3期	25/3期
機関投資家・アナリストとの個別ミーティング	128回	136回	111回
決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)	4回	4回	4回
事業説明会(アナリスト・機関投資家向け)	2回	2回	2回
工場見学会(アナリスト・機関投資家向け)	—	—	1回
証券会社主催カンファレンス	1回	1回	—
海外ロードショー	—	—	—
個人投資家向け説明会	1回	—	1回
社外取締役とのエンゲージメントミーティング(アナリスト・機関投資家向け)	10回	1回	1回

活 動	23/3期	24/3期	25/3期
IR活動のフィードバック(役員向け)	四半期ごと	四半期ごと	四半期ごと
勉強会(従業員向け)	統合レポート勉強会を従業員対象に実施 (参加者数389名)	統合レポート勉強会を従業員対象に実施 (参加者数約400名)	統合レポート勉強会を従業員対象に実施 (参加者数約600名)

中計リバイズに関するフォローアップミーティング (スモールミーティング)を開催

社外取締役によるエンゲージメントミーティング



開催日：2025年3月7日
 開催場所：東京(スパイラルビル)
 開催目的：中期経営計画リバイズやガバナンス体制について意見交換
 出席者：社外取締役 岩井 恒彦
 社外取締役 佐藤 久恵
 社外取締役 日戸 興史
 社外取締役 原田 哲郎
 参加者：11社14名

- 戦略を進めるにあたって**社内の組織体制にも課題がある**と理解されている点については納得感があった。
- 社外取締役の方が、**実効のスピードに対して、遅いと進言**されているとことが印象に残った。

25/3期決算および26/3期事業計画に関するトップミーティング



開催日：2025年6月11日
 開催場所：東京
 開催目的：25/3期決算および26/3期事業計画、中計リバイズの進捗について経営陣と意見交換
 出席者：代表取締役 社長執行役員 矢島 昌明
 代表取締役 副社長執行役員 宮城 晃
 株式会社フコール
 代表取締役 社長執行役員 川西 啓介
 参加者：8社9名

- 次期中期経営計画に関する踏み込んだ議論が行われ、**経営陣の考えを明確に示された点は高く評価できる。**
- 中国事業について、今期が見極めの年とされているが、**継続・撤退の判断基準が不透明**である。**継続・撤退の判断に用いる定量的なKPIを開示**してほしい。
- 米国事業について、百貨店依存からEC強化へのシフト、UI/UX改善の取り組み、CAGR10%成長目標など、具体的な戦略が共有され、**現状の課題と対応策が明確**になった。